

Hirata

The Global Production Engineering Company

2017年3月期 第2四半期 決算説明資料

2016.11.24

平田機工株式会社



I 決算状況

2017年3月期 第2四半期 (2016年11月24日)

Hirata



決算概要

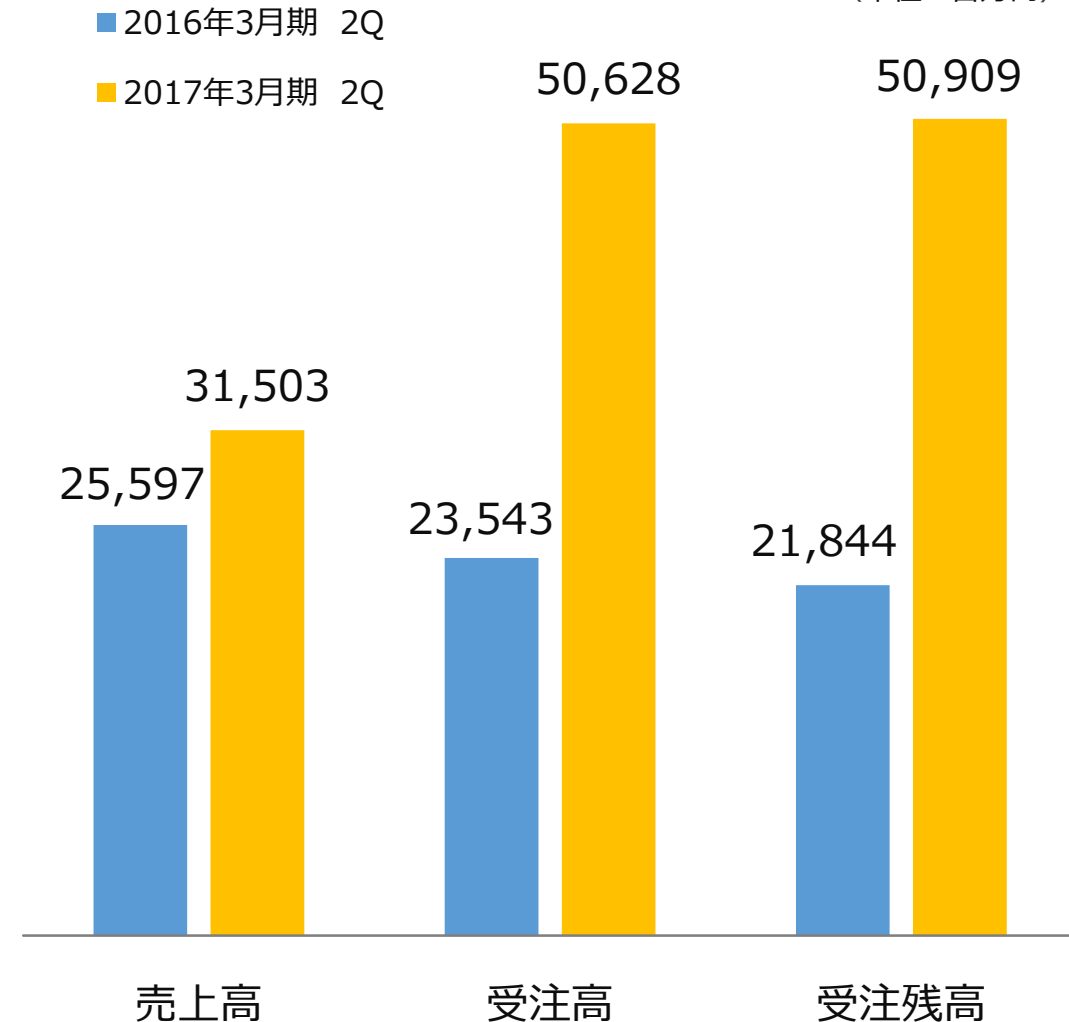
有機EL蒸着装置を中心に半導体関連生産設備事業が大幅増収となり、自動車関連生産設備事業においても、北米メーカー向けのパワートレイン関連設備や国内メーカー向けの部品関連設備などが堅調に推移。その結果、全体では第2四半期の売上高としては過去最高額を計上。各利益とも同様に過去最高額を計上した。

また、受注高、受注残高は前期比2倍以上の増加となり、これも過去最高の計上額となった。

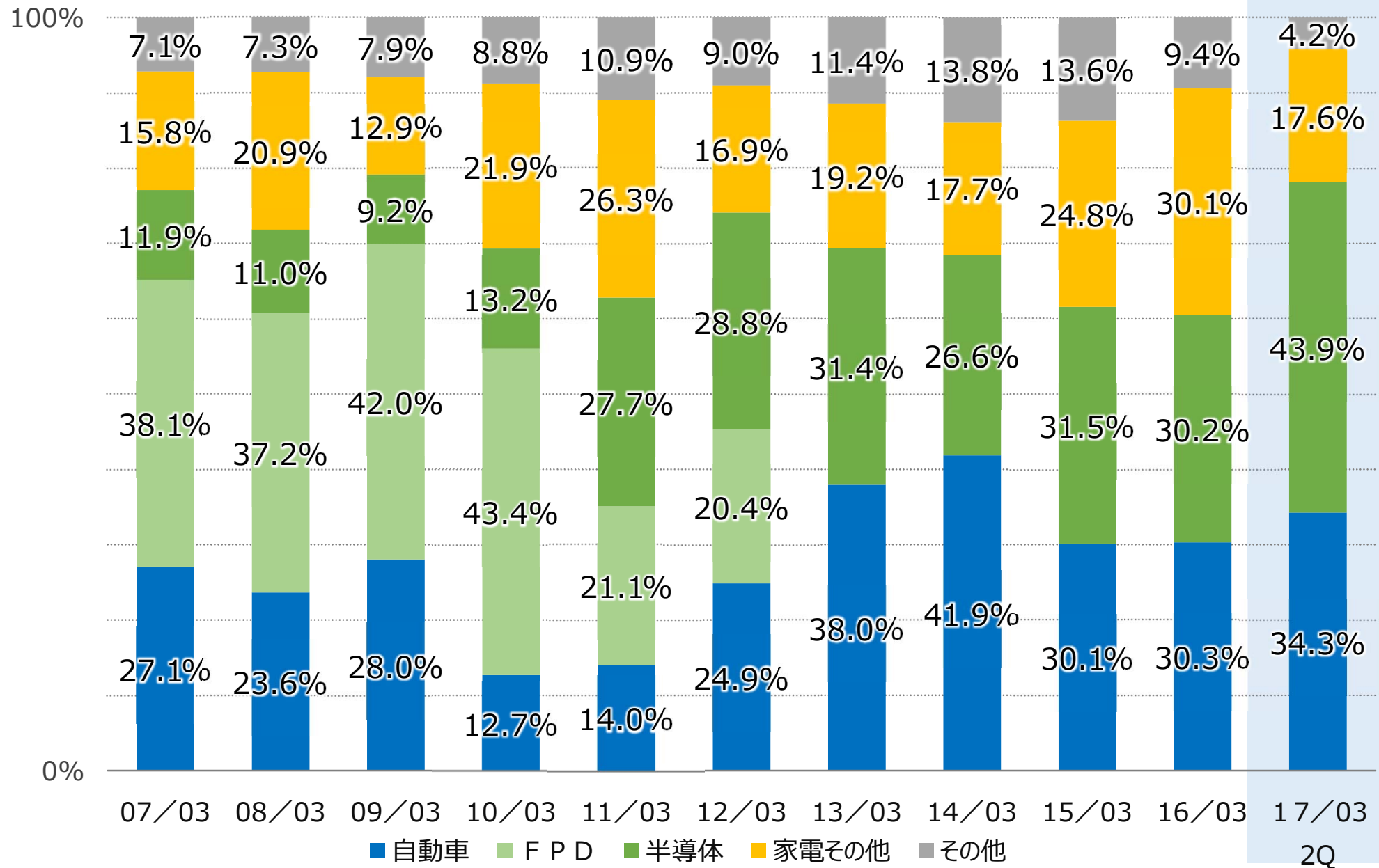
(単位：百万円)

	2016年3月期 第2四半期 実績	2017年3月期 第2四半期 実績	増減率
売上高	25,597	31,503	+23.1%
営業利益	1,713	3,287	+91.9%
経常利益	1,637	2,964	+81.1%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	958	1,903	+98.6%

(単位：百万円)

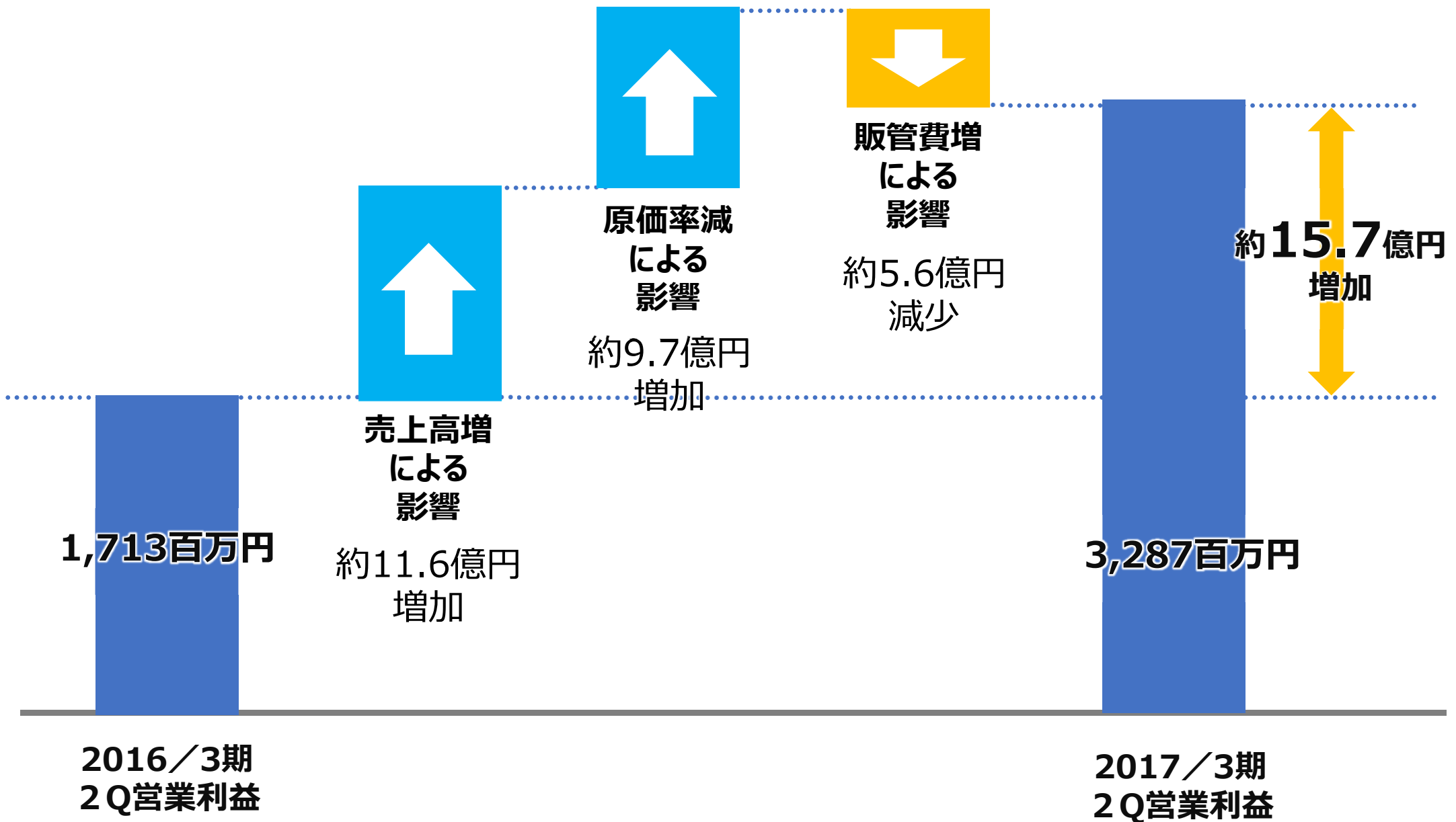


I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合

I 決算状況 営業利益の増減要因分析



貸借対照表

(単位：百万円)

資産	2016年 3月期	2017年 3月期2Q	増 減	負債	2016年 3月期	2017年 3月期2Q	増 減
流動資産	40,758	54,904	+14,146	流動負債	30,592	39,440	+8,847
固定資産	18,923	18,947	+24	固定負債	7,504	11,771	+4,267
有形固定資産	15,653	15,511	Δ 141	負債合計	38,097	51,212	+13,114
無形固定資産	398	450	+52	純資産			
投資その他資産	2,872	2,985	+113	純資産合計	21,584	22,639	+1,055
資産合計	59,681	73,851	+14,170	自己資本比率	35.6%	30.3%	Δ 5.3Point

主な増減項目

資産

受取手形及び売掛金	+11,248
仕掛品	+2,646
機械装置及び運搬具	+373

負債・純資産

有利子負債	+9,215
支払手形及び買掛金	+3,111
前受金	+1,259

I 決算状況 想定為替レートなど

想定為替レート

(単位：円)

	2016年4月1日～9月30日 実績レート	2016年10月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	105.63円	100.00円

株価推移

(単位：円)

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年3月期		
			7月	8月	9月
最高	917	3,100	6,720	7,250	8,060
最低	560	782	4,365	5,080	6,120
末日	799	2,752	5,740	6,680	7,580

PER/PBR/ROE

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期 2Q
PER (倍)	8.76	16.08	—
PBR (倍)	0.39	1.22	3.36
ROE (%)	4.70	8.0	—

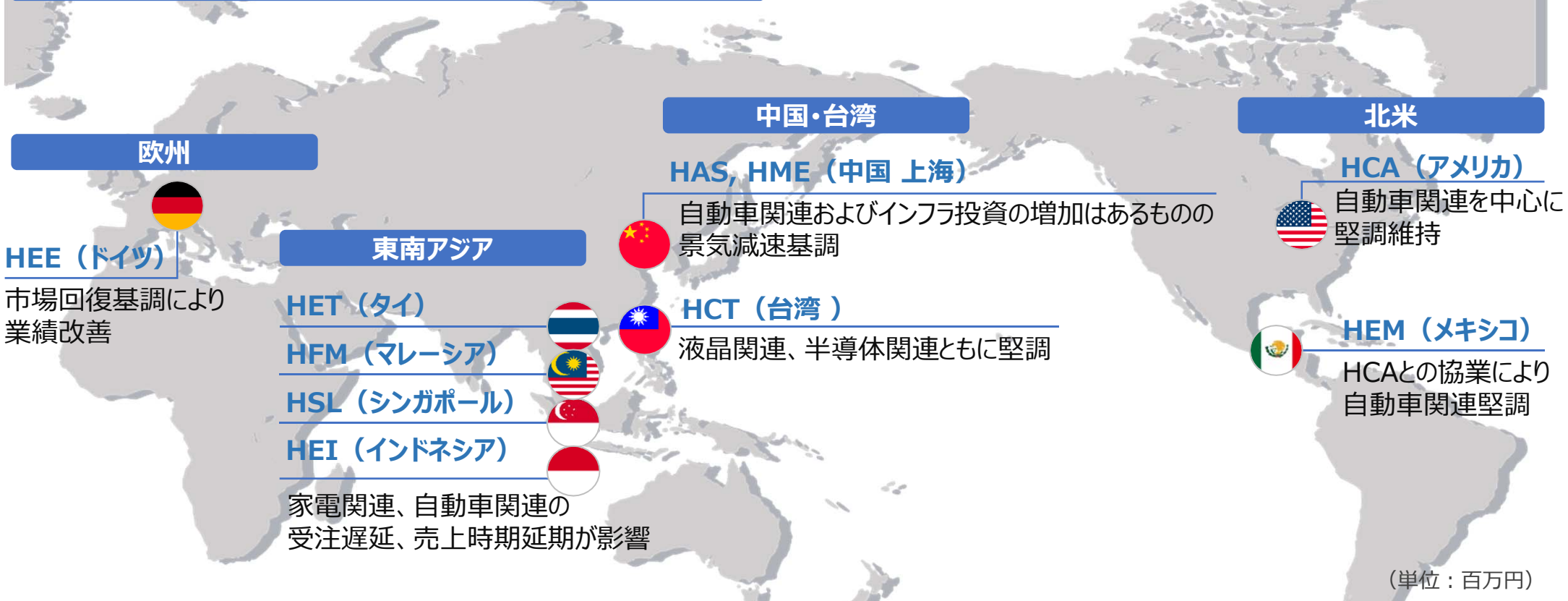
I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)

	事業部門	2016/3 2Q	2017/3 2Q	対前年同期比 増減率
売上高	自動車	8,661	10,791	+24.6%
	半導体	6,299	13,825	+119.5%
	家電関連およびその他	7,360	5,550	△24.6%
	その他	3,276	1,336	△59.2%
	合計	25,597	31,503	+23.1%
受注高	自動車	6,319	22,098	+249.7%
	半導体	8,037	19,283	+139.9%
	家電関連およびその他	5,528	6,077	+9.9%
	その他	3,657	3,169	△13.3%
	合計	23,543	50,628	+115.0%
受注残高	自動車	7,462	26,473	+254.8%
	半導体	5,411	14,270	+163.7%
	家電関連およびその他	7,339	7,414	+1.0%
	その他	1,631	2,750	+68.6%
	合計	21,844	50,909	+133.1%

I 決算状況 海外現地法人の状況

所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	16/3 2Q	17/3 2Q	16/3 2Q	17/3 2Q	16/3 2Q	17/3 2Q	16/3 2Q	17/3 2Q	16/3 2Q	17/3 2Q
売上高	20,572	27,349	3,377	1,964	1,352	2,004	294	185	25,597	31,503
営業利益	1,989	3,291	△89	△ 29	△175	90	△2	△ 12	1,721	3,340

※営業利益の合計はセグメント間の消去を行う前の金額を表示しています。

I 決算状況 トピックス ダイソン社からの受賞

— お客さまからの表彰・受賞の実績を紹介

●ダイソン社（Dyson Ltd.）からパートナーシップ・アワードを受賞

6月16日、Dyson's supplier day 2016にて、Partnership Awardを受賞いたしました。

ダイソン社製品、各種モーターの生産および納期、技術力、品質などに当社が貢献したことが高く評価されたものであり、2014年から3年連続の受賞となります。また今年4月、Dyson Supersonic発表時に放映されたビデオの中では、「平田機工は、ダイソン社と長年にわたり取引のある素晴らしい会社」と、創業者ジェームズ・ダイソン氏からコメントをいただきました。



本年4月に発生した熊本地震の復旧支援のため、以下のような取り組みを行いました。

1 本社を東京から熊本に移転

2 期間従業員100名超を募集
熊本の取引先244社に対する支援

3 従業員への支援
・特別休暇・災害見舞金・復興貸付金

4 熊本城復旧支援の寄付

5 株主優待制度の新設
・熊本城災害復旧支援金 または
・熊本城災害復旧支援金付きクオ・カード
・希望株主へ「復興城主」の特典付与

6 熊本大学との包括連携



本社移転のテレビCM



株主優待 クオ・カード

©2010 熊本県くまモン#K1761

Ⅱ 2017年3月期業績の見通し

2017年3月期 第2四半期 (2016年11月24日)

Hirata



自動車関連事業

温室効果ガス削減に向けた技術革新、設備投資はさらに強力に推進される見込み。
ハイブリッドエンジン等の低燃費エンジン関連設備と、電気自動車関連設備の受注増を見込む。

半導体関連事業

有機ELパネル蒸着装置関連は、スマートフォン向け需要が本格化し、高い受注水準で継続する見込み。
半導体市場関連は、新興国における高機能スマートフォンの普及、自動車向け電子機器を含むIoT関連の市場拡大により、半導体装置メーカーの収益増が予想され、当社の受注も堅調に推移。

家電関連およびその他

新興国の生活水準向上に伴い、世界の家電需要は緩やかに拡大する見込み。
当社、主要顧客においては、掃除機関連設備を中心とした受注が期待できる。

Ⅱ 2017年3月期業績の見通し 業績予想

※2016年11月11日に通期業績予想を修正いたしました。

(単位：百万円)

	2016年3月期 実績		2017年3月期 期初予想		2017年3月期 修正予想	
売上高	53,048		60,000		70,000	
自動車関連	16,065		20,000		26,000	
半導体関連	16,014		20,000		26,000	
家電関連およびその他	16,000		15,000		15,000	
その他	4,968		5,000		3,000	
営業利益 (率)	2,924	(5.5%)	3,500	(5.8%)	5,000	(7.1%)
経常利益 (率)	2,825	(5.3%)	3,500	(5.8%)	4,500	(6.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	1,713	(3.2%)	2,300	(3.8%)	3,300	(4.7%)

通期業績予想修正の理由及び事業計画達成のための施策

半導体関連生産設備事業、自動車関連生産設備事業を中心に、非常に高い水準で受注が続いており通期の売上高および各利益は前回発表予想を大幅に上回る見込みとなった。第3四半期以降は、有機EL関連設備の工場増設などにより、高い負荷を吸収し、着実に予定案件を売上げ、目標を達成する。

Ⅱ 2017年3月期業績の見通し 配当予想

1株あたり配当金・配当性向 推移

※11月11日に配当修正いたしました。

(単位：円)

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期予想
1株あたり配当金	12.50	12.50	15.00	30.00	60.00
配当性向 (%)	46.1	15.5	16.4	17.5	17.2

※配当性向は連結ベース。

配当予想修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しながら安定した配当を継続していくことを基本としつつ、一方で経営業績に応じた弾力的な配当を実施することも肝要であると考えており、業績、経営環境および財務状況等を総合的に勘案した上で決定していくことにしております。

上記の方針のもと、通期業績予想を踏まえ、平成29年3月期の1株当たりの期末配当金は、前回発表予想から30.0円増となる60.0円に修正いたします。

なお、本件につきましては、平成29年6月下旬に開催予定の定時株主総会において付議する予定であります。

Ⅲ 参考資料

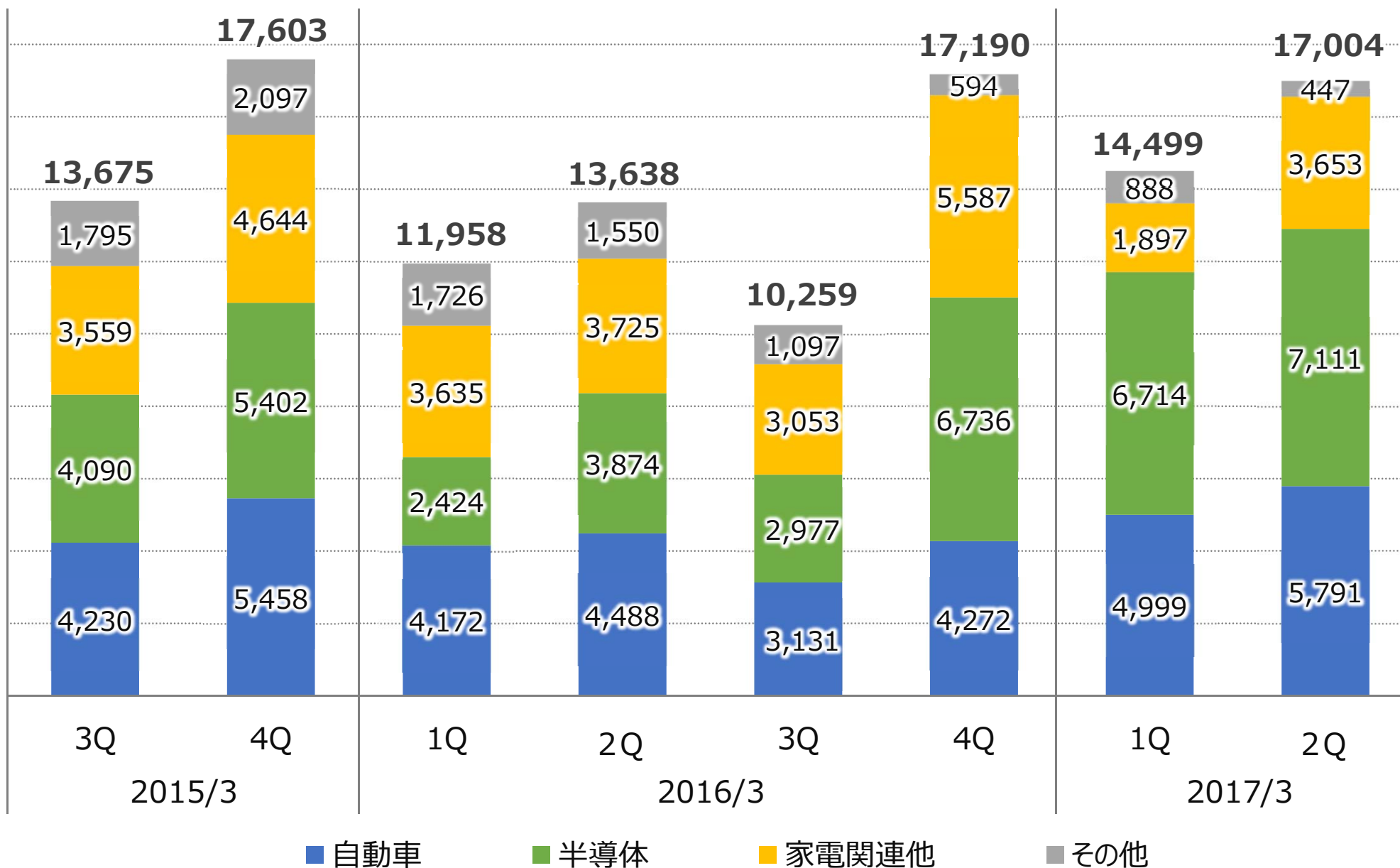
2017年3月期 第2四半期 (2016年11月24日)

Hirata



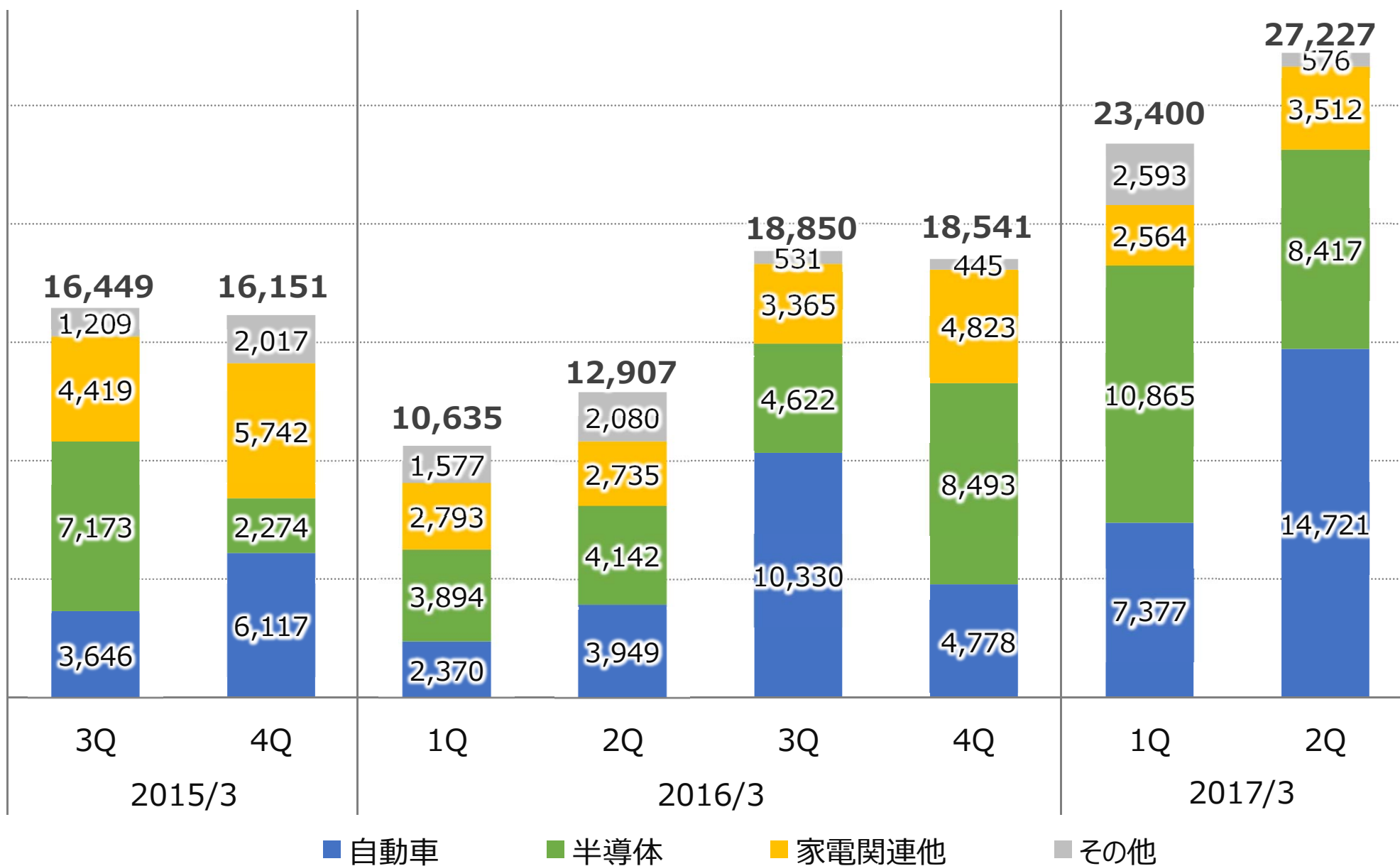
事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



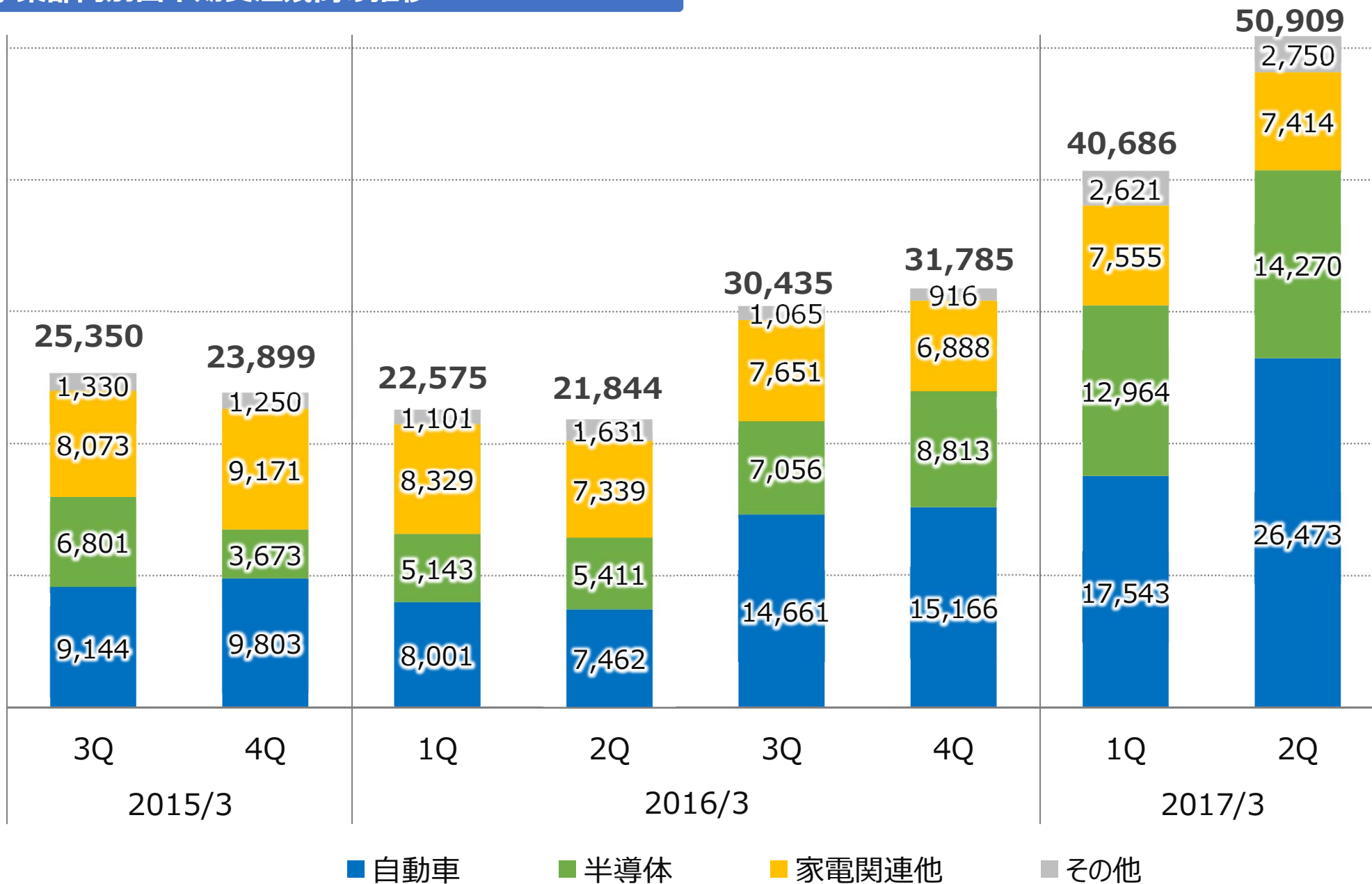
事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)

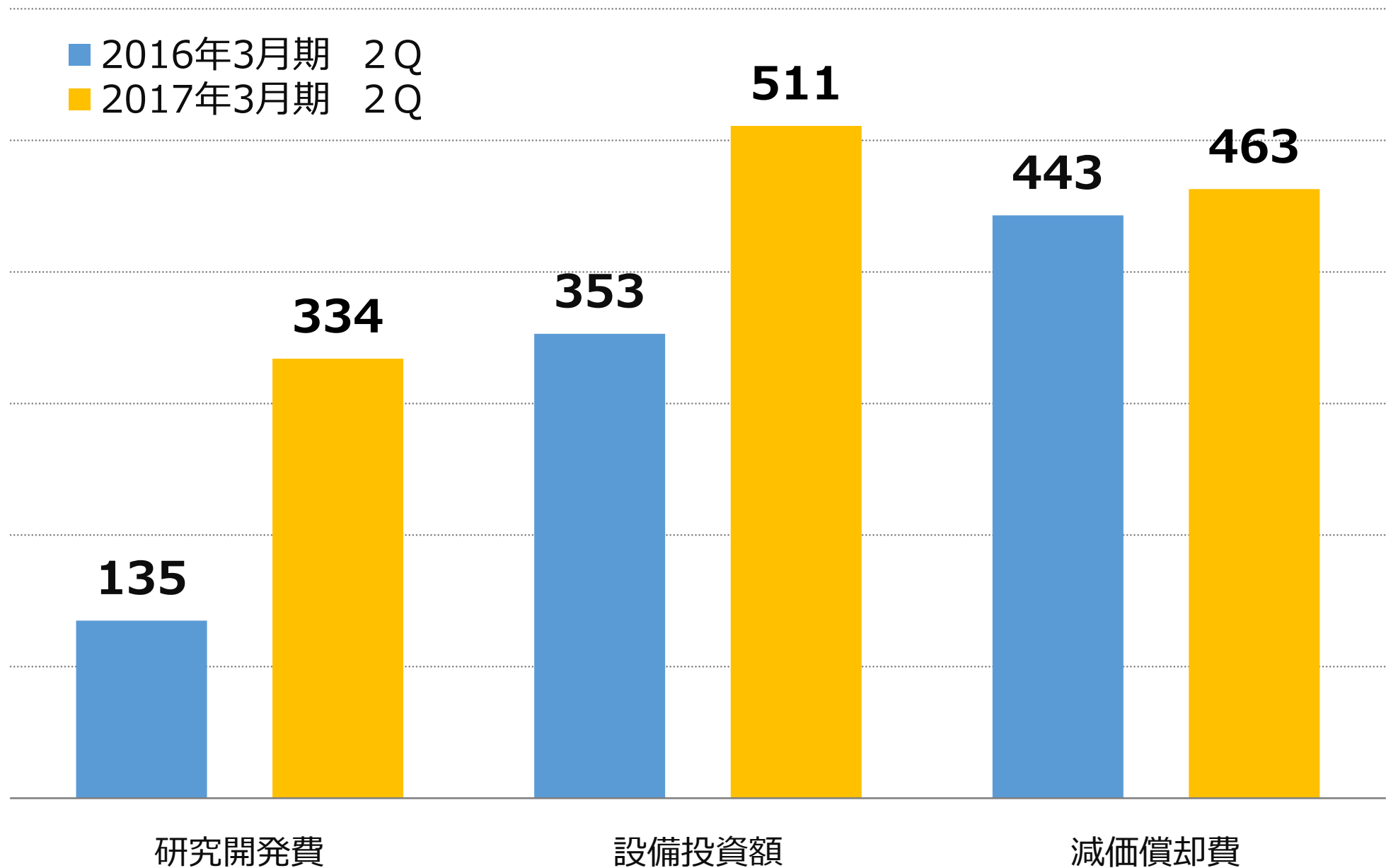


事業部門別四半期受注残高の推移

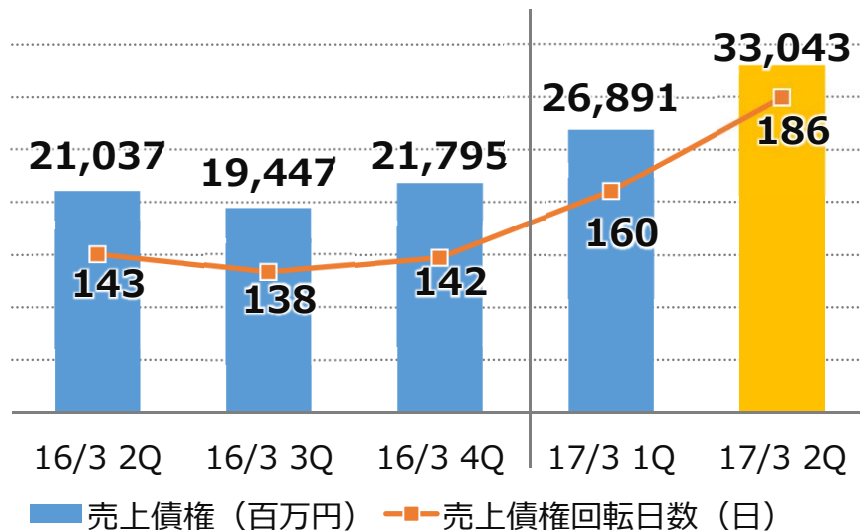
(単位：百万円)



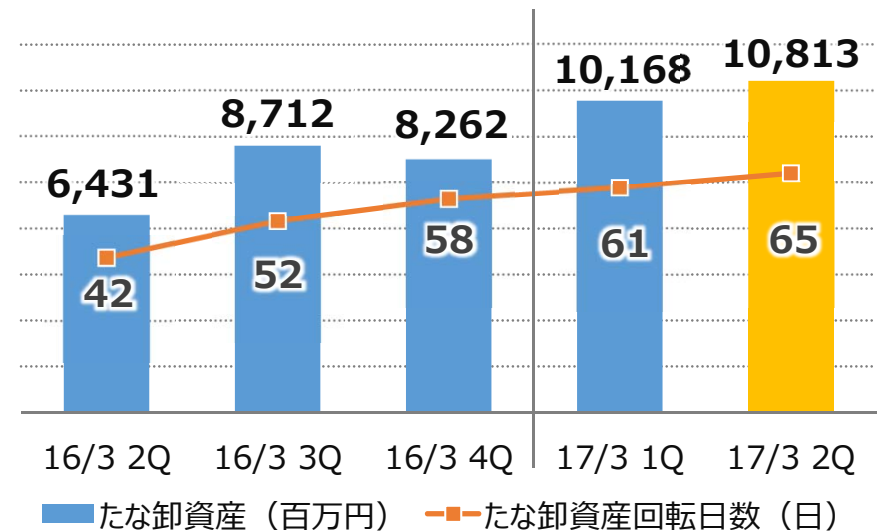
(単位：百万円)



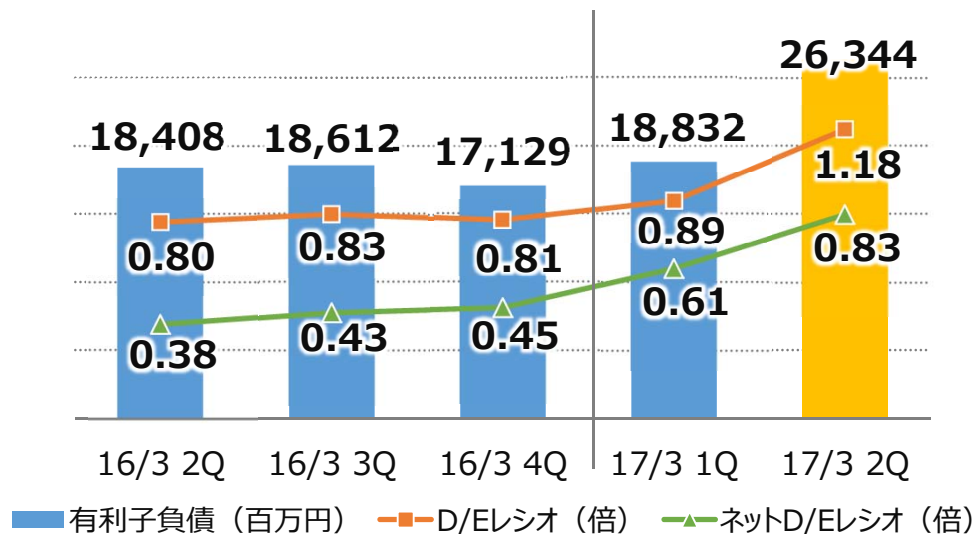
売上債権・売上債権回転日数



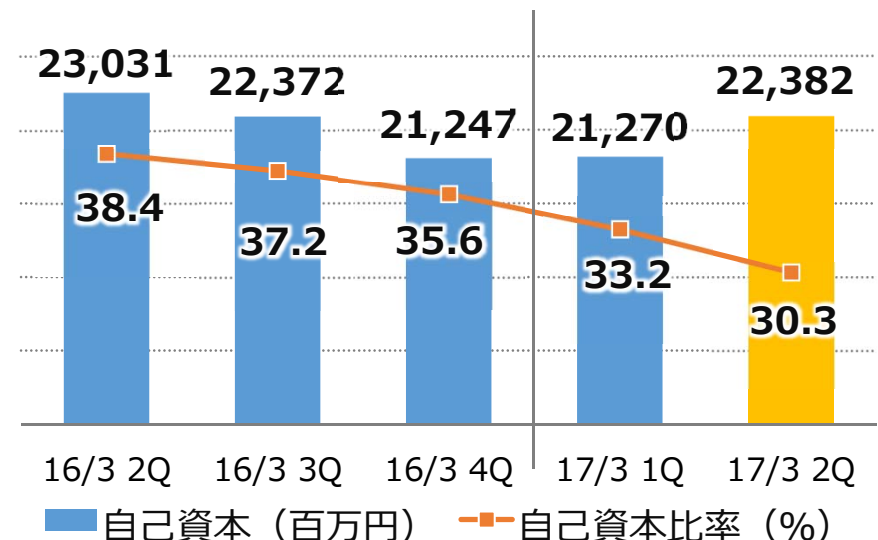
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



[注] 売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などの様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。